

古文単語・古文常識これだけ100

解答・決め手

答えより、**決め手の一行**を覚えてください。

丸つけのしかた 答えが合っていても、決め手が言えなければ×にしてください。

- ① 現代語と意味が違う語に注意 「あさまし」＝驚きあきれる、「ありがたし」＝めったにない。現代語で読むと逆になります。
- ② 多義語は文脈で決める 「かなし」は「いとしい」か「悲しい」か。前後の内容で決まります。
- ③ 常識は暗記でよい 旧暦の月名・時刻・方角・年中行事。知っていれば読めて、知らなければ読めません。

重要古語の意味

1	古語「めづ」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。 ア ほめる・賞賛する・愛する / イ 見える／姿を見せる・会う / ウ 驚きあきれるほどだ / エ 申し上げる（「言ふ」の謙譲）	ア	「めづ」はほめる・賞賛する・愛する。
2	古語「みゆ」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。 ア 驚きあきれるほどだ / イ 見える／姿を見せる・会う / ウ 申し上げる（「言ふ」の謙譲） / エ 物思いにふける	イ	「みゆ」は見える／姿を見せる・会う。
3	古語「ゆめ」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。 ア めったにない・珍しい / イ 残念だ・物足りない / ウ 決して（～な） / エ 心がひかれる・慕わしい	ウ	「ゆめ」は決して（～な）。
4	古語「かなし」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。 ア することがなく退屈だ / イ 目が覚めるほど立派だ／心外だ / ウ どうしようもない・道理に合わない / エ いとしい・切ないほど愛しい	エ	「かなし」はいとしい・切ないほど愛しい。
5	古語「にくし」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。 ア 気にくわない・しゃくだ / イ そのまま・すぐに / ウ 程度がはなはだしい（よくも悪くも） / エ よりどころ・縁故／ついで	ア	「にくし」は気にくわない・しゃくだ。

6	古語「きこゆ」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。 ア 物思いにふける / イ 申し上げる（「言ふ」の謙譲） / ウ 見た目が感じよい・無難だ / エ 惜しい・もったいない	イ	「きこゆ」は申し上げる（「言ふ」の謙譲）。
7	古語「おぼゆ」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。 ア 早朝・（事のあった）翌朝 / イ 不都合だ・具合が悪い / ウ 自然と思われる・思い出される / エ つらい・さびしい・興ざめだ	ウ	「おぼゆ」は自然と思われる・思い出される。
8	古語「ゆかし」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。 ア 恐れ多い／たいそうすぐれている / イ ふつうだ・いいかげんだ / ウ よくない・感心しない / エ 見たい・知りたい・心ひかれる	エ	「ゆかし」は見たい・知りたい・心ひかれる。
9	古語「ゆゆし」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。 ア 不吉だ／はなはだしい / イ 大切に育てる・大事に世話する / ウ 無礼だ・無作法だ / エ ばかげている・愚かだ	ア	「ゆゆし」は不吉だ／はなはだしい。
10	古語「やがて」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。 ア 程度がはなはだしい（よくも悪くも） / イ そのまま・すぐに / ウ よりどころ・縁故／ついで / エ ほめる・賞賛する・愛する	イ	「やがて」はそのまま・すぐに。
11	古語「ながむ」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。 ア 見た目が感じよい・無難だ / イ 惜しい・もったいない / ウ 物思いにふける / エ 手紙・連絡／訪問	ウ	「ながむ」は物思いにふける。
12	古語「をかし」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。 ア なんとなく・わけもなく / イ 中途半端だ／きまりが悪い / ウ	エ	「をかし」は趣がある・風情がある。

	気の毒だ・心が痛む / エ 趣がある・風情がある	
13 古語「ちぎり」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。 ア 約束／前世からの宿縁 / イ (守ってやりたいほど) かわいらしい / ウ 決して (～な) / エ めったにない・珍しい	ア	「ちぎり」は約束／前世からの宿縁。
14 古語「わびし」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。 ア 道理・わけ／もっともだ / イ つらい・さびしい・興ざめだ / ウ くやしい・しゃくだ / エ 身分が低い／下品だ	イ	「わびし」はつらい・さびしい・興ざめだ。
15 古語「やさし」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。 ア 端正で美しい・きちんとしている / イ 約束／前世からの宿縁 / ウ 優美だ・上品だ / エ (守ってやりたいほど) かわいらしい	ウ	「やさし」は優美だ・上品だ。
16 古語「たより」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。 ア ほめる・賞賛する・愛する / イ 見える／姿を見せる・会う / ウ 驚きあきれほどだ / エ よりどころ・縁故／ついで	エ	「たより」はよりどころ・縁故／ついで。
17 古語「いやし」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。 ア 身分が低い／下品だ / イ 気がかりだ・はっきりしない / ウ 待ち遠しい・じれったい / エ 興ざめだ・殺風景だ	ア	「いやし」は身分が低い／下品だ。
18 古語「まどふ」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。 ア きまりが悪い・みっともない / イ どうしてよいか分からず うろたえる / ウ 冷淡だ・素知らぬふうだ / エ すばらしい・立派だ	イ	「まどふ」はどうしてよいか分からず うろたえる。
19 古語「いみじ」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。	ウ	「いみじ」は程度がはなはだしい (よくも悪くも)。

	ア よりどころ・縁故／ついで／ イ ほめる・賞賛する・愛する／ ウ 程度がはなはだしい（よくも悪くも）／エ 見える／姿を見せる・会う	
20	古語「ねたし」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。 ア 身分が低い／下品だ／イ 気がかりだ・はっきりしない／ウ 待ち遠しい・じれったい／エ くやしい・しゃくだ	エ 「ねたし」はくやしい・しゃくだ。
21	古語「しのぶ」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。 ア 我慢する／人目を避ける／恋い慕う／イ どうしてよいか分からずうるたえる／ウ きまりが悪い・みっともない／エ 冷淡だ・素知らぬふうだ	ア 「しのぶ」は我慢する／人目を避ける／恋い慕う。
22	古語「おどろく」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。 ア 似つかわしい・ふさわしい／イ はっと気づく・目を覚ます／ウ （相手が立派で）気おくれするほどだ／エ 不吉だ／はなはだしい	イ 「おどろく」ははっと気づく・目を覚ます。
23	古語「たのむ」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。 ア うっとうしい・不快だ／イ 我慢する／人目を避ける／恋い慕う／ウ あてにする／あてにさせる／エ どうしてよいか分からずうるたえる	ウ 「たのむ」はあてにする／あてにさせる。
24	古語「うつくし」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。 ア 物足りない・心寂しい／イ 丁寧だ・親切だ・親密だ／ウ 優美だ・上品だ／エ （小さいものが）かわいらしい	エ 「うつくし」は（小さいものが）かわいらしい。
25	古語「なさけ」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。 ア 思いやり・情愛／風流心／イ いとしい・切ないほど愛しい／ウ	ア 「なさけ」は思いやり・情愛／風流心。

	することがなく退屈だ / エ 目が覚めるほど立派だ / 心外だ	
26	古語「すさまじ」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。 ア あっけない・頼りない・むなし / イ 興ざめだ・殺風景だ / ウ 見たい・知りたい・心ひかれる / エ 恐れ多い / たいそうすぐれている	「すさまじ」は興ざめだ・殺風景だ。
27	古語「なめし」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。 ア ばかげている・愚かだ / イ 早く（～たい） / ウ 無礼だ・無作法だ / エ （小さいものが）かわいらしい	「なめし」は無礼だ・無作法だ。
28	古語「つとめて」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。 ア 不都合だ・具合が悪い / イ っらい・さびしい・興ざめだ / ウ 道理・わけ / もっともだ / エ 早朝・（事のあった）翌朝	「つとめて」は早朝・（事のあった）翌朝。
29	古語「あさまし」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。 ア 驚きあきれるほどだ / イ 申し上げる（「言ふ」の謙譲） / ウ 物思いにふける / エ 見た目が感じよい・無難だ	「あさまし」は驚きあきれるほどだ。
30	古語「つれなし」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。 ア すばらしい・立派だ / イ 冷淡だ・素知らぬふうだ / ウ 趣がある・風情がある / エ なんとなく・わけもなく	「つれなし」は冷淡だ・素知らぬふうだ。
31	古語「わろし」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。 ア どうにもならない・無益だ / イ 気の毒だ・かわいそうだ / ウ よくない・感心しない / エ 待ち遠しい・じれったい	「わろし」はよくない・感心しない。
32	古語「なつかし」の意味として最も適切なものを、ア～エ	「なつかし」は心がひかれる・慕わしい。

	から選べ。 ア だんだん・しだいに / イ 高貴だ・上品だ / ウ あてにする／あてにさせる / エ 心がひかれる・慕わしい	
33	古語「びんなし」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。 ア 不都合だ・具合が悪い / イ づらい・さびしい・興ざめだ / ウ 道理・わけ／もっともだ / エ くやしい・しゃくだ	「びんなし」は不都合だ・具合が悪い。
34	古語「めざまし」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。 ア どうしようもない・道理に合わない / イ 目が覚めるほど立派だ / 心外だ / ウ そのまま／すべて・残らず / エ 大声で騒ぐ／世間で評判が高い	「めざまし」は目が覚めるほど立派だ／心外だ。
35	古語「いとほし」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。 ア 待ち遠しい・じれったい / イ 気に入らない・しゃくだ / ウ 気の毒だ・かわいそうだ / エ そのまま・すぐに	「いとほし」は気の毒だ・かわいそうだ。
36	古語「はづかし」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。 ア 不吉だ／はなはだしい / イ 大切に育てる・大事に世話する / ウ 無礼だ・無作法だ / エ （相手が立派で）気おくれするほどだ	「はづかし」は（相手が立派で）気おくれするほどだ。
37	古語「やうやう」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。 ア だんだん・しだいに / イ 高貴だ・上品だ / ウ あてにする／あてにさせる / エ うっとうしい・不快だ	「やうやう」はだんだん・しだいに。
38	古語「あてなり」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。 ア あてにする／あてにさせる / イ 高貴だ・上品だ / ウ うっとうしい・不快だ / エ 我慢する／人目を避ける／恋慕う	「あてなり」は高貴だ・上品だ。

39 古語「くちをし」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。 ア 心がひかれる・慕わしい / イ だんだん・しだいに / ウ 残念だ・物足りない / エ 高貴だ・上品だ	ウ	「くちをし」は残念だ・物足りない。
40 古語「めやすし」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。 ア 惜しい・もったいない / イ 手紙・連絡／訪問 / ウ まじめだ・誠実だ／実用的だ / エ 見た目が感じよい・無難だ	エ	「めやすし」は見た目が感じよい・無難だ。

重要古語②

41 古語「け」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。 ア 気配・様子・きざし / イ ほんのちょっとだ・かりそめだ / ウ むやみだ・ひどい・問題にならない / エ いらっしゃる（「あり・行く・来」の尊敬語）	ア	「け」は気配・様子・きざし。
42 古語「ぐす」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。 ア（恐れ・寒さで）ふるえる / イ 連れ立つ・伴う・備わる / ウ（下に打消を伴い）～できない / エ それ以外の／避けられない（さらぬ別れ＝死別）	イ	「ぐす」は連れ立つ・伴う・備わる。
43 古語「めす」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。 ア お控えする／あります・～ます（丁寧語） / イ（頭から）かぶる／（褒美を）いただく・与える / ウ お呼びになる・お取り寄せになる・召し上がる / エ 祈る／じっと我慢する	ウ	「めす」はお呼びになる・お取り寄せになる・召し上がる。
44 古語「え」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。 ア それ以外の／避けられない（さらぬ別れ＝死別） / イ 窮屈だ・大げさだ・堂々としている / ウ おっしゃる（「言ふ」の尊敬語） / エ（下に打消を伴い）～できない	エ	「え」は（下に打消を伴い）～できない。
45 古語「わぶ」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。 ア つらく思う・困る・～しかねる / イ 楽しむ・興じる / ウ 待ち遠しく思う / エ 何とも思わない・平気だ	ア	「わぶ」＝つらく思う・困る。「待ちわぶ」＝待ちあぐねる、のように「～しかねる」の意も。
46 古語「れい」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。	イ	「れい」はいつものこと・いつものとおり。

	ア 気に入らない・心がひかれない ／ イ いつものこと・いつものとおり ／ ウ 心づかい・性質・おもむき ／ エ お呼びになる・お取り寄せになる・召し上がる	
47 古語「ゐる」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。 ア 気持ちを抑える・体を休める / イ 世間の評判／（貴人の）寵愛 / ウ 座る・とどまる・（人を）引き連れる / エ 無礼だ・無作法な様子だ	ウ	「ゐる」は座る・とどまる・（人を）引き連れる。
48 古語「みち」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。 ア 気の毒だ・心配だ / イ 準備・支度／急ぐこと / ウ 差し上げる（「与ふ」の謙譲語） / エ 道／その方面の専門・学問	エ	「みち」は道／その方面の専門・学問。
49 古語「まうす」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。 ア 申し上げる（「言ふ」の謙譲語） / イ 管弦・詩歌を楽しむ・遊宴する / ウ 座る・とどまる・（人を）引き連れる / エ 気持ちを抑える・体を休める	ア	「まうす」は申し上げる（「言ふ」の謙譲語）。
50 古語「のたまふ」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。 ア おっしゃる（「言ふ」の尊敬語） / イ 申し上げる（「言ふ」の謙譲語） / ウ お聞きになる（「聞く」の尊敬語） / エ 辞退する・抵抗する	ア	「のたまふ」はおっしゃる（「言ふ」の尊敬語）。
51 古語「ほい」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。 ア 切実だ・しきりだ・大切だ / イ 幼い・あどけない / ウ かねてからの願い・本来の意志（本意） / エ お聞きになる・召し上がる（聞く・食ふの尊敬語）	ウ	「ほい」はかねてからの願い・本来の意志（本意）。
52 古語「けいす」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。	エ	「けいす」は（中宮・皇太子に）申し上げる。

	ア ある・いる・行く・するなどを表す代動詞 / イ 目立たない地味な姿になる・やつれる / ウ なだめる・言いつくろう・準備する / エ (中宮・皇太子に) 申し上げる	
53	古語「ものす」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。 ア ある・いる・行く・するなどを表す代動詞 / イ 目立たない地味な姿になる・やつれる / ウ なだめる・言いつくろう・準備する / エ 順序／よい機会・折	「ものす」はある・いる・行く・するなどを表す代動詞。
54	古語「まゐる」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。 ア あちこち歩き回る・出歩く / イ 参上する・差し上げる・召し上がる / ウ 膝をついて進む(膝行する) / エ 病気になる・苦しむ・～しかねる	「まゐる」は参上する・差し上げる・召し上がる。
55	古語「ゆゑ」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。 ア つらい・いやだ・情けない / イ 愛情・誠意／お礼の品 / ウ 理由／由緒・風情 / エ いただく(「受く」の謙譲語)	「ゆゑ」は理由／由緒・風情。
56	古語「たまふ」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。 ア 前もって準備する・用意する / イ 他のせいにする・嘆く / ウ かねてからの願い・本来の意志(本意) / エ お与えになる(尊敬)。下二段は「～ております」(謙譲)	「たまふ」はお与えになる(尊敬)。
57	古語「かづく」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。 ア (頭から) かぶる／(褒美を) いただく・与える / イ 祈る／じっと我慢する / ウ あとを追う・恋慕する / エ 道／その方面の専門・学問	「かづく」は(頭から) かぶる／(褒美を) いただく・与える。
58	古語「あそぶ」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。	「あそぶ」は管弦・詩歌を楽しむ・遊宴する。

	ア 座る・とどまる・(人)を引き連れる / イ 管弦・詩歌を楽しむ・遊宴する / ウ 気持ちを抑える・体を休める / エ 世間の評判 / (貴人の) 寵愛	
59 古語「そうす」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。 ア お与えになる(尊敬)。下二段は「～ております」(謙譲) / イ 前もって準備する・用意する / ウ (天皇・上皇に) 申し上げる / エ 他のせいにする・嘆く	ウ	「そうす」は(天皇・上皇に)申し上げる。
60 古語「おこす」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。 ア つらく思う・困る・～しかねる / イ 恐れ謹む・お礼を申す・正座する / ウ 理由/由緒・風情 / エ (こちらへ) よこす・送ってくる	エ	「おこす」は(こちらへ) よこす・送ってくる。
61 古語「まうく」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。 ア 前もって準備する・用意する / イ 他のせいにする・嘆く / ウ かねてからの願い・本来の意志(本意) / エ 切実だ・しきりだ・大切に	ア	「まうく」は前もって準備する・用意する。
62 古語「やつる」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。 ア なだめる・言いつくろう・準備する / イ 目立たない地味な姿になる・やつれる / ウ 順序/よい機会・折 / エ 優美だ・上品だ(優なり)	イ	「やつる」は目立たない地味な姿になる・やつれる。
63 古語「まかづ」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。 ア (こちらへ) よこす・送ってくる / イ つらく思う・困る・～しかねる / ウ (宮中など貴所から) 退出する・おいとまする / エ 恐れ謹む・お礼を申す・正座する	ウ	「まかづ」は退出する・(貴所から) 退出する。
64 古語「すまふ」の意味として最も適切なものを、ア～エから選べ。	エ	「すまふ」は辞退する・抵抗する。

	ア 工夫する・計略をめぐらす / イ 様子・きざし・機嫌 / ウ ふつ うだ・並ひととおりだ / エ 辞退 する・抵抗する	
65	古語「おぼえ」の意味として 最も適切なものを、ア～エか ら選べ。 ア 世間の評判／（貴人の）寵愛 / イ 無礼だ・無作法な様子だ / ウ 心づかい・配慮・準備（用意） / エ お思いになる（「思ふ」の尊敬 語）	「おぼえ」は世間の評判／（貴人の）寵愛。
66	古語「ねんず」の意味として最 も適切なものを、ア～エから 選べ。 ア あとを追う・恋慕 / イ 祈 る／じっと我慢する / ウ 道／そ の方面の専門・学問 / エ 気の毒 だ・心配だ	「ねんず」は祈る／じっと我慢する。
67	古語「おほす」の意味として 最も適切なものを、ア～エか ら選べ。 ア 辞退する・抵抗する / イ 工夫 する・計略をめぐらす / ウ おっ しゃる・お命じになる（言ふ・命 ずの尊敬） / エ 様子・きざし・機 嫌	「おほす」はおっしゃる・お命じになる（言 ふ・命ずの尊敬）。
68	古語「ゐざる」の意味として 最も適切なものを、ア～エか ら選べ。 ア 病気になる・苦しむ・～しかね る / イ いつものこと・いつもの とおり / ウ 気にくわない・心がひ かれない / エ 膝をついて進む （膝行する）	「ゐざる」は膝をついて進む（膝行する）。
69	古語「さらぬ」の意味として 最も適切なものを、ア～エか ら選べ。 ア それ以外の／避けられない（さ らぬ別れ＝死別） / イ 窮屈だ・ 大げさだ・堂々としている / ウ お っしゃる（「言ふ」の尊敬語） / エ 申し上げる（「言ふ」の謙譲語）	「さらぬ」はそれ以外の／避けられない（さら ぬ別れ＝死別）。
70	古語「かこつ」の意味として最 も適切なものを、ア～エから 選べ。 ア かねてからの願い・本来の意志 （本意） / イ 他のせいにする・	「かこつ」は他のせいにする・嘆く。

嘆く / ウ 切実だ・しきりだ・太
切だ / エ 幼い・あどけない

古文常識

71	旧暦「睦月（むつき）」は何月か。 ア 一月 / イ 三月 / ウ 七月 / エ 十月	ア	睦月＝一月。
72	旧暦で「秋」にあたる月はどれか。 ア 一・二・三月 / イ 七・八・九月 / ウ 四・五・六月 / エ 十・十一・十二月	イ	旧暦の秋は七～九月。
73	旧暦「弥生（やよひ）」は何月か。 ア 一月 / イ 五月 / ウ 三月 / エ 九月	ウ	弥生＝三月。
74	旧暦「卯月（うづき）」は何月か。 ア 二月 / イ 六月 / ウ 十月 / エ 四月	エ	卯月＝四月。
75	旧暦「皐月（さつき）」は何月か。 ア 五月 / イ 三月 / ウ 七月 / エ 九月	ア	皐月＝五月。
76	宮中に参上することを何というか。 ア 退出 / イ 参内（さんだい） / ウ 行幸 / エ 御幸	イ	参内・参る。
77	「あかつき」が指すのはいつ頃か。 ア 夕暮れ / イ 真夜中 / ウ 夜明け前のまだ暗い頃 / エ 正午	ウ	あかつき＝夜明け前。あけぼのは空が白む頃。
78	旧暦「葉月（はづき）」は何月か。 ア 六月 / イ 十月 / ウ 二月 / エ 八月	エ	葉月＝八月。
79	「行幸（ぎやうがう）」とは何か。 ア 天皇のお出まし / イ 上皇のお出まし / ウ 貴族の外出 / エ 神の渡御	ア	行幸＝天皇のお出まし（上皇は御幸）。

80	旧暦「如月（きさらぎ）」は何月か。 ア 四月 / イ 二月 / ウ 六月 / エ 八月	イ	如月＝二月。
81	旧暦「文月（ふみづき）」は何月か。 ア 五月 / イ 九月 / ウ 七月 / エ 十一月	ウ	文月＝七月。
82	旧暦「師走（しはす）」は何月か。 ア 十月 / イ 一月 / ウ 八月 / エ 十二月	エ	師走＝十二月。
83	旧暦「長月（ながつき）」は何月か。 ア 九月 / イ 七月 / ウ 十一月 / エ 三月	ア	長月＝九月。
84	十二支で「卯」の方角はどれか。 ア 西 / イ 東 / ウ 南 / エ 北	イ	卯＝東。
85	旧暦「霜月（しもつき）」は何月か。 ア 九月 / イ 一月 / ウ 十一月 / エ 五月	ウ	霜月＝十一月。
86	「たそがれ時」が指すのはいつ頃か。 ア 明け方 / イ 真夜中 / ウ 正午 / エ 夕暮れ	エ	黄昏＝夕暮れ。
87	「宵（よひ）」が指すのはいつ頃か。 ア 日が暮れて間もない頃 / イ 真夜中 / ウ 明け方 / エ 昼	ア	宵＝日暮れ直後。
88	旧暦「水無月（みなづき）」は何月か。 ア 四月 / イ 六月 / ウ 八月 / エ 十二月	イ	水無月＝六月。
89	五月五日、菖蒲を用いる節句はどれか。 ア 上巳 / イ 七夕 / ウ 端午の節句 / エ 重陽	ウ	端午。
90	男子が成人になる儀式を何というか。 ア 裳着 / イ 袴着 / ウ 産養 / エ 元服	エ	元服。冠をつける。

91	女子が成人になる儀式を何と いうか。 ア 裳着（もぎ） / イ 元服 / ウ 袴着 / エ 賀	ア	裳着。裳をつける。
92	旧暦「神無月（かんなづき）」 は何月か。 ア 八月 / イ 十月 / ウ 十二月 / エ 四月	イ	神無月＝十月。
93	月の第一日を表す語はどれ か。 ア 晦日（みそか） / イ 望（も ち） / ウ 朔日（ついたち） / エ 弦（げん）	ウ	朔日＝月の初め。
94	十二支で「子（ね）」の方角 はどれか。 ア 南 / イ 東 / ウ 西 / エ 北	エ	子＝北。
95	平安貴族の一般的な結婚の形 はどれか。 ア 男が女の家に通う婿取り婚 （通ひ婚） / イ 女が男の家に入 る嫁取り婚 / ウ 集団見合い / エ 寺での挙式	ア	通ひ婚・婿取り婚。
96	天皇の後のうち、最上位の後 を何と呼ぶか。 ア 更衣 / イ 中宮（皇后） / ウ 女房 / エ 典侍	イ	中宮・皇后が最上位。
97	十二支で「午（うま）」の方 角はどれか。 ア 北 / イ 東 / ウ 南 / エ 西	ウ	午＝南（正午＝午の刻）。
98	手紙を意味する古語はどれ か。 ア 札 / イ 簡 / ウ 帖 / エ 文 （ふみ）・消息	エ	文・消息。
99	満月（十五夜）の月を表す語 はどれか。 ア 望（もち）の月 / イ 朔（さ く）の月 / ウ 三日月 / エ 夕月	ア	望＝満月。
100	天皇に直接申し上げることを 特に何とというか。 ア 啓す / イ 奏す（そうす） / ウ 申す / エ のたまふ	イ	天皇・上皇へは「奏す」。